

2022 壱岐市長杯・壱岐レース帆走指示書

1. 競技規則

本レースの適用規則は下記のとおりとする。

- A. 帆走指示書
- B. 海上衝突予防法およびセーリング競技規則（2021－2024）

2. 責任の所在

艇と乗組員の安全の確保は艇長の避けられない責任であり、博多ヨットクラブは一切の責任を負わない。レースの続行/棄権の決定責任は各艇長にある。

艇長は艇が十分に艤装され、かつ必要な耐候性を保ち、荒天の海でも耐えうるクルーを乗り組ませ、艇と乗組員の安全のために全力を尽くさねばならない。

3. スケジュール

9月18日（日）09：00 レーススタート（予定）

※艇長会議は行わず、2022 壱岐市長杯・壱岐レース帆走指示書をもって代える。

4. レースコース

小戸ヨットハーバー沖から壱岐筒城浜七湊港に至る海面。通過地点は自由。

5. スタートライン

博多湾内に設置する本部船とリミットマークブイを結ぶ線をスタートラインとする。

（別添位置図を参照）

6. 本部船

スタート本部船（博多湾）	小戸ハーバーレスキュー艇 TEL 090-1084-6546（菅原）
フィニッシュ本部船（壱岐）	未定（マスト上部にHYC旗と青色旗を掲揚したヨット） 連絡先携帯番号は本部船決定後に参加艇に連絡する。

7. レース旗

レースに参加する艇は、艇のスターン部に博多ヨットクラブのバージ（旗）を掲げる。

HYC会員外の艇にあっては、種別・大きさは問わないので目印となるフラッグを掲げる。

8. スタート

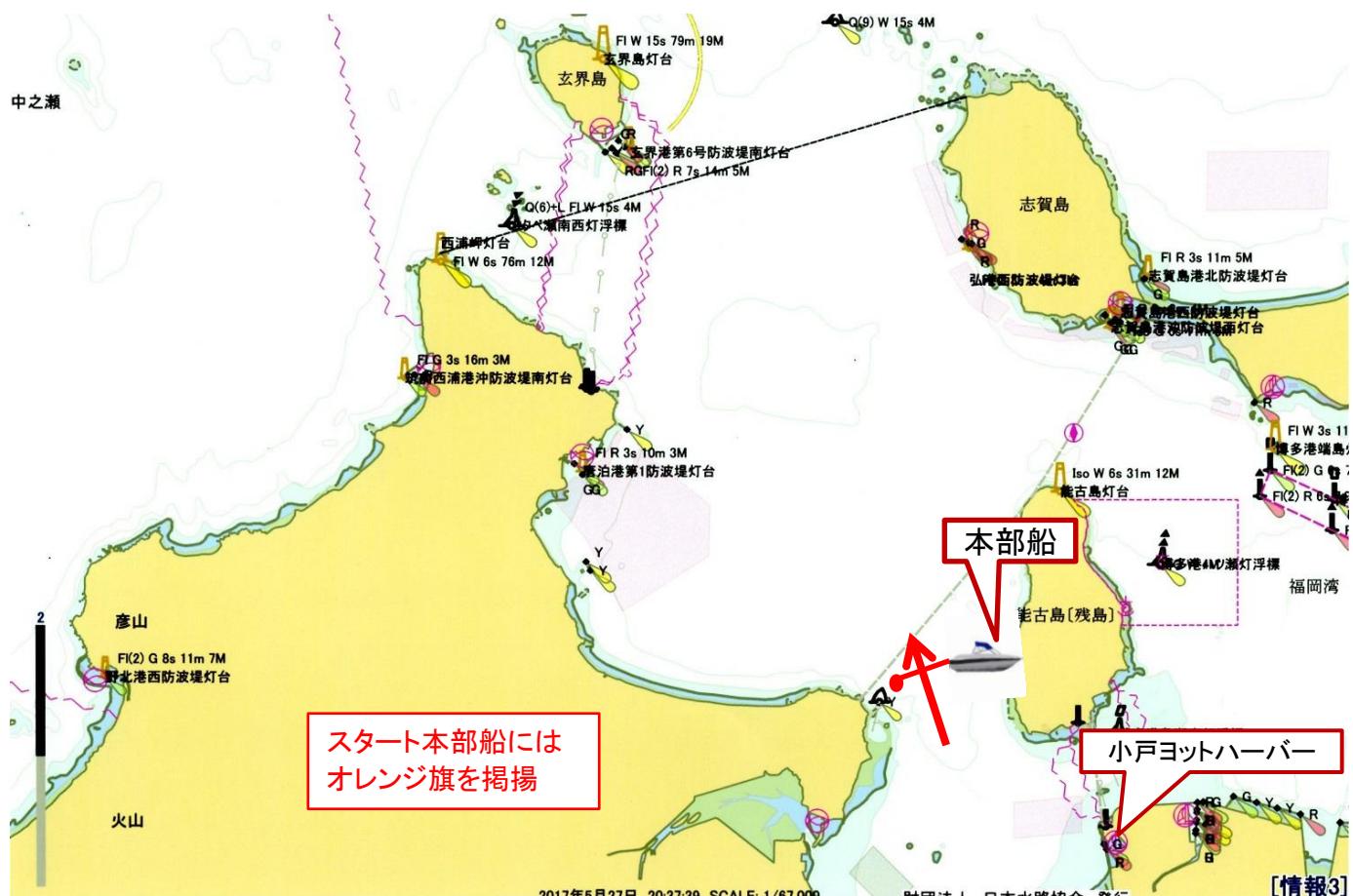
- A. スタート本部船とリミットマークブイを結んだ見通し線をスタートラインとし、スタート本部船を右舷に見てスタートしなければならない。
- B. フリーのスタートであってもウェザーマークは設置しない。
- C. スタート5分前にHYC旗を掲げ、長音一声を発する。
- D. スタート4分前にP旗を掲げ、長音一声を発する。
- E. スタート1分間にP旗のみを降下し、長音一声を発する。
- F. スタート時刻丁度にHYC旗を降下し、長音一声を発する。

9. リコール

- A. リコール艇があった場合はX旗を掲げ、長音一声を発する。
- B. 復帰は当該艇の責任である。
- C. リコールを解消せずにフィニッシュした艇は、所要時間の20%をペナルティーとして計算する。

10. ゼネラルリコール
 - A. ゼネラルリコールの場合は第1代表旗を掲げ、長音二声を発する。
 - B. ゼネラルリコール後の再スタートは、ゼネラルリコールとなった時刻の10分後とする。
 11. フィニッシュ
フィニッシュラインは、博多ヨットクラブ旗と青色旗を掲げた本部船と、七湊港入口の防波堤突端の街灯柱を結ぶラインとする。（別添位置図を参照）
 12. タイムリミット（レース終了時刻）
タイムリミット（レース終了時刻）は、9月18日（日）午後5時とする。
スタートが遅れた場合でもタイムリミットの延長はしない。
 13. 修正順位
修正順位は、博多ヨットクラブが定めたTCFによる修正時間の少ないものを上位とし、同時間の場合はTCFの小さい艇を上位とする。
 14. 抗議
 - A. 原則として抗議は受け付けない。普段レースに参加しないクルージング艇が参加することもあるため、みだりにルール上の権利を行使しないことを要望する。
 - B. 衝突は絶対に避けなければならない。
 - C. 他艇と衝突した艇は、理由の如何を問わずすべて失格とする。
 15. 出艇申告
出艇申告はレース参加申込書をもって代える。9月11日（日）の申込期限までに提出すること。
 16. リタイヤ
何らかの理由でリタイヤした艇は、リタイヤ後速やかにフィニッシュ本部船（未定）に報告しなければならない。
報告なき場合は事故とみなし、海上保安部に報告し救助を要請する場合がある。
 17. エンジンの使用
バッテリーの充電目的に限って、レース中において一時的にエンジンの使用を認める。ただしこの場合、推進力を発生しないようにギヤは必ずニュートラル位置に固定しておくこと。
また、スタート4分前からスタートするまではエンジンの使用は禁ずる。
- ☆ フィニッシュ後、島に入港する際は港での係留やごみ処理に注意!!
(ごみは持ち帰りましょう)
- また、上陸する場合は、新型コロナ感染防止のため必ずマスクの着用を!!

スタート地点(小戸沖)



フィニッシュ地点(壱岐・筒城浜沖)

